

三、その政治運動展開のために労働団体と動員化する方針を把持するもの。右の三矣を具するものとしておられる。我が總聯合は特に第一項の如きものを意味するプランシズムに就ては断乎として排撃するところののである。

ストライキ決行に就いて

ストライキが労働者の武器としてその偉力を完全に發揮し得るの日は、労働者當面の生活を豊富にするための、換言すれば労働条件改善のための闘争に用ひられる時、最も強力に發揮し得られるものである。従つてストライキは經濟的には、それと直接的に之に用ひられることによつてその力を充分に示し得るのである。

この事が充分に分ればストライキを決行するものと、また結果をつけるものと労働者の生活を豊富にすることを中心に決定せなければならぬのである。

この定まり切つた事を云つておるのは、ストライキをやリテ入すればよいと考へておる迷妄を打破する爲であり、またストライキを政治的に利用しようとする考へに戒心を加へんが爲である。その意味は、ストライキをやリテ入すればよいと考へ、また

政治的に煽動しても、之に利益の多い限り労働者は動かぬものであるといふ矣と指摘してゐるものである。

初期に於ては運動に對する無智と闘争の方法を知らぬ爲に、労働者はその胸に抱く無限の不平の故に煽動に乗つたことはあつた。しかしやがて無責任な方法によつたストライキは必ず惨敗し、その惨敗の故に二度と再び労働組合やストライキには参加せぬなどと放言する労働者もあつた。これ明らかに反動化せしめたる指導の失敗である。

故にストライキは、直面せる実利主義に立脚せなければならぬ。それを政治運動や革命に使はうとする處に矛盾があり破局がある。政治的のストライキを失敗の總同盟罷業ほど云ふものは、現実のストライキと混同する事は、ストライキを失敗せしむるものであつて、戒心せなければならぬ事だ。最近東京市電の大量職首に際して、新日本國民同盟交通產業労働同盟の署名あるポスターに、日共産主義社會民主主義ストライキ反對の一句があつた。これは共産主義的ストライキ反對、社會民主